

食品ロス対策について

1 文京区の食品ロスについて

平成26年度の家庭ごみの組成分析調査の結果、未利用・未開封のまま捨てられている食品は、可燃ごみの約3.1%を占めており、区全体では年間約830tにも上る。また、この処理経費に約4,800万円が支出されている。

2 文京区の食品ロス対策事業

(1) フードドライブ事業

文京区では、食品ロスの削減と食品等の有効利用のため、フードドライブ（未利用食品の回収）を実施している。家庭で消費しきれない等の余剰食品を区役所の窓口や各種イベント※にて回収し、都内のフードバンクを通じて必要な方々に届けるなど、有効活用を図っている。当初は年に1回、エコ・リサイクルフェアでの回収のみであったが、徐々に機会を増やしていくと共に、回収量も増加している。今年度からリサイクル清掃課窓口で通年回収を開始したため、一層の増加が見込まれる。

※イベント：区主催のステージ・エコ、エコ・リサイクルフェア、クールアースデー、子育てフェスティバル等

①実績

	イベント回収	窓口回収	回収量	備考
平成26年度	年1回	—	76,248 g	
平成27年度	年1回	—	245,443 g	
平成28年度	年1回	—	288,277 g	
平成29年度	年9回	期間限定実施	609,056 g	
平成30年度	年8回	通年回収開始	171,840 g	5月分配送分まで

②フードバンクへの搬入

30年度からは月に1回、庁有車にて台東区にあるフードバンク、認定NPO法人セカンドハーベストジャパンに持ち込んでいる。

※フードバンク：余剰食品を回収し、必要とされる方や施設に届ける団体。

※認定NPO法人セカンドハーベストジャパン：日本初のフードバンク。

(2) ぶんきょう食べきり協力店事業

平成30年度から本格実施。食品ロス削減に取り組む店舗を食べきり協力店（リサイクル協力店のうち食品ロスに取り組む店舗を移行）として登録するとともに、「食べきり協力店シール」を配布し、広く区民周知を図っていく。

※平成30年5月1日現在の登録数：15店舗

※登録要件等は別紙「ぶんきょう食べきり協力店制度実施要綱」参照